

# 平成 26 年 10 月 5 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

司 会 : 赤塚敏郎兄  
奏 楽 : 米田 香姉  
おいのり : 平松友子姉  
さんび : 新聖歌 282 「見ゆるところによらず」 1. 2. 3 節  
使徒信条  
聖書箇所 : マタイによる福音書 18 章 18~20 節 (P.29)  
(朗読: 加藤由美子姉)

誕生祝福の祈り

証 し : 田中佑典兄  
音 楽 : ミッション・チーム

メッセージ : 久保田豊伝道師

メッセージ : 「ひとりをつなぎとめる」 倉知 契牧師

賛美 と 献金 : 新聖歌 656 「感謝します」

頌 栄 : ハレルヤ (B♭)

祝 禱  
報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎いたします。お昼ご飯もぜひ一緒に(200円)。
- ◇ 大和カルバリーチャペルからのチームを歓迎します。
- ◇ 10/19(日)三浦綾子さん「氷点」スペシャル&持ち寄り昼食会!
- ◇ 10/25(土)子ども秋まつりにお手伝いください。チラシがあります。
- ◇ 11月後半になされる「持ち寄り音楽祭」の申し込みをはじめます。  
立候補、推薦、多くの方に声を掛けて牧師までお伝えください。  
皆さんの日程、時間調整を致します。kei@yamatocalvarychapel.com
- ◇ 祈祷会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈祷会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース ガラテヤ6章~エペソ6章 Bコース イザヤ13章~30章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年10月12日] [聖餐式]  
[司会: 小木秀夫兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 持田樹理姉]  
[ピアノ/リード: 米田 香姉、アシスト: 大神久美姉、鄭 恵真姉]  
[献金: 赤塚孝子姉、大神久美姉 受付: 平松友子姉]  
◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄  
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 持田樹理姉



先週の月曜日、お休みの日を献上して、映画「ふうけもん」の上映会のお手伝いをしました。私は、チケット切りと、上映会の司会をさせて頂きました。大川牧師の代行ですが、初めての映画会の司会に、たくさん冷や汗をかきました。

映画は元祖便利屋の実話です。「ふうけもん」とは佐賀弁で「ばか」の意味。ヤクザまがいの裏社会に生きていた右近勝吉さんが、宣教師の笑顔に救われ、イエス様に出逢いました。それから心機一転、便利屋として他人のために生きる「ふうけもん」になったのです。庭の手入れ、ドブさらい、孤独な老人の話し相手、時には死体の処理までする。その生き様に感動です。名古屋では10月7日(火)に鶴舞駅の名古屋市公会堂で上映されます。10時半、14時半、18時半。当日券(千円)もありますので、ぜひお時間のある方は応援してください。

映画の原作本「人のために人となる人」にこうありました。「世間の雑用、引き受けます…二十年も続けている便利屋の仕事を一言でいうとそうなります。けれどもともうか、だからともうか、その「雑」の部分こそ、建前をとりぞいた、飾らない、人の暮らしのそのままの姿、心のすき間やほころびを垣間見ることができるのです。「神は細部に宿り給う」ではありませんが、生活の雑事にこそ人生の本質は反映されているようです。(右近勝吉著・サンマーク出版)

クリスチャンは神様のための「ふうけもん」。主のためならどんな雑事(奉仕)も聖務と思い、喜んでいたします。今日は大和からミッション・トリップのチームがやってきましたが、彼らもイエス様の「ふうけもん」。でもその人生は、生活の細部にまで神様の祝福をいただく「もうけもん」人生。

私の友人に実際便利屋をしている方がいて、当日会場にいらして、私を横浜駅まで送って下さいました。道中の会話。いまのご時世、孤独死の現場の処理を頼まれるのが多いそうです。寂しい話でした。手遅れになる前に、誰かが福音を伝えなければなりません。10月19日のオープン礼拝(三浦綾子さん「氷点」特集)や、25日(土)の子ども秋まつりのために、何かご協力くださいませんか。ここは瀬戸ふうけもん教会。「福音のためなら何でもします(1コリント9の23)」。そんなスピリットで誰かの「つなぎ役」をさせて頂きたいと願います!

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

そのように、これからの小さい者のひとりが減びることはない。天にいますあなたをたの父のみこころではない。

マタイ 十八章 十四節